

分かりやすく表現するために、必要な情報活用スキルを学ぶ

横浜市立東汲沢小学校 教諭 吉田 圭一

小学校6年 総合的な学習の時間 しまった！～情報活用スキルアップ～

番組の特徴

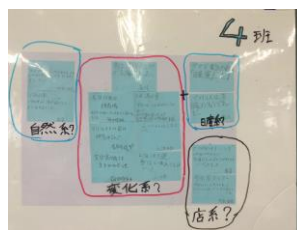
子どもたちが、各教科領域で主体的な学習活動を進める中で、陥りやすい情報活用スキルの「しまった」を、ポイントを示しながら、わかりやすく教えてくれる。

授業デザイン（1 単位授業時間）

単元：ひぐみ PR プロジェクト

目標：地域の方から話を聞いて、少し前の町の様子や、変化してきたことを整理する

導入	<ul style="list-style-type: none"> 交流会で地域の方から聞いた話を思い出す。 一人一人の方がおっしゃった話を、みんなで共有することを確認する。
課題把握	学習課題「聞いたことを分類・整理してみんなのパンフレット作りに生かそう」
番組視聴	「まとめる 情報を整理する」
自力解決	<ul style="list-style-type: none"> ポイントを意識し自分が聞いた情報を付箋に書く
協働解決	<ul style="list-style-type: none"> グループで情報を分類・整理する カテゴリ分けや見出しをつけて自分たちの集めた情報を見える化する。
まとめ	全体で共有して振り返りをする。



研究の概要

体験的な活動や実際に足を運んで学ぶことが好きである。一度自信を得た学びを繰り返し、高めようとする意欲が見られる。そこで、地域の方々と関わり、話を聞いた情報を発信する学習単元を設定した。工夫した表現にするためには情報活用スキルの向上が欠かせない。番組をきっかけに情報の整理・分析の仕方を学び、協働的に学ぶことを通して、自分たちの活動に積極的に生かそうとする姿が見られた。

番組や関連動画クリップの活用意図

効果的に情報を活用するための番組視聴

今までも付箋を使ってきたが、みんなで集めた情報が本当に生かされていたのか問い直すきっかけとした。付箋を書くことが目的になっていた意識を、分類するためや整理しやすくするためにどのように書くべきかという視点をもたせたい。

学びのチャンスとして番組と出会う

番組の「しまった」と思うようなケースを見て、自分たちの経験と結び付けたい。そして子どもたちが番組で示されたポイントを意識して、すぐに実践してみたいという思いをもたせて活動につなげたい。

思考の可視化にかかわる教師の工夫

付箋を使ったグループワーク

番組で示されたポイントを意識して、分類・整理するだけでなく、分析することを考えて話し合いを進めることができた。

考えや学び方を交流

全体で順番に確認するのではなく、一人一人が各グループを見て回り、分類の仕方や見出しのつけ方の工夫を参考にできる時間をとった。その際、整理した結果だけに着目するのではなく、どのように考えて表したのかを話すようにさせた。そうすることで自分たちの考え方と比較できるだけでなく、子どもたち同士で自然に分析やまとめ方もアドバイスし合えると考えた。

生き生きと学ぶ子どもの姿

子どもの自己評価（活動後の感想記述から）

- 取材した時はいろんなことを聞くことができたけれども、パンフレットにまとめようとする時、情報をまとめたり整理したりしなくてはならないと思った。
- みんなでまとめる時には、同じものと違うもので分けていたけれど、伝える目的によって分け方が変わることを初めて知った。

評価シートから

実践前後で有意差が見られた項目は以下の通りである。

- 友達と協力して学習することができた。
- 学習した内容を友達や先生に、正しく説明できた。

実践を終えて

分かりやすく表現するためには、思考を整理しなくてはならない。番組視聴を通してモデルケースを参考に、ポイントを捉えながら自分たちの活動につなげることができた。その際、具体的な活動に落とし込むことと、必要性を感じさせられる場面を想定した単元づくりが大切である。